

set vol.6

医療法人 平成博愛会 世田谷記念病院広報誌



コラム

世田谷記念病院で
働くスタッフ
栄養部

特集

回復期リハビリテーション病棟
入院から退院まで



絶対に見捨てない。

いたい、つらい、くるしい、かなしい。
わからない、しらない、なぜ、どうして。
不安なあなたの手を、どうかさしだしてください。
私たちは必ずその手をとります。
助けを求めるすべての人へ、絶対に見捨てない医療を。



世田谷記念病院 院長 武久 敬洋

当院は急性期病院での治療終了後にご自宅や施設で生活するみなさんの「在宅生活を支える」という目的のために2012年に設立されました。この地域で当院が果たすべき役割は大きく3つと考えています。

- ① 急性期治療を終えた患者さんを受け入れて自宅に帰れるようにする。
- ② 入院が必要になった在宅患者さんを受け入れて、再び在宅に戻れるように治療を行う。
- ③ ご自宅や施設で生活する患者さんへの各種在宅医療サービス（訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・訪問栄養指導）を提供して、安心できる在宅生活を送っていただく。

これらの役割を果たすために、回復期リハビリテーション病棟（107床）と地域包括ケア病棟（39床）の2種類の病棟を運営しています。それぞ

れの病棟では、患者さんに関わる医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護職員・医療ソーシャルワーカーなどの専門多職種が、それぞれの視点で見出した課題を話し合いながら解決する、最高のチーム医療を実践できるように努力しています。

今年度からは、本格的な在宅医療サービスの提供を開始しました。24時間365日対応の訪問診療をはじめとして、各種訪問サービスを充実させました。これにより、退院後も途切れることのないサービス提供ができるようになりました。

より良い医療が提供できるように、常にサービスの向上に努めて参ります。今後ともよろしく願っています。

当院の新着情報

PICK UP NEWS

面会室完成！

患者さんとご家族が安心して面会していただけるよう、感染対策に配慮した面会室を設けました。利用方法や予約方法など、くわしくはホームページをご覧ください。



面会室には
アクリル板を設置し
使用後は消毒と換気
を実施しています

世田谷記念病院

電話診療・オンライン診療

感染症予防の目的で、外来受診を控えたい方のため、電話・オンライン診療を行っています。診察は、原則として、同一疾患で複数回受診している外来主治医が担当いたします。
※外来主治医が対応できない場合や主治医が決まっていない場合にはほかの医師が対応します。



※画像はイメージです

外壁工事進行中

現在、病院周囲に止水機能向上のための外壁を新設中です。万が一の際も浸水を防ぐための取り組みです。

世田谷記念
病院では
どんな治療を
しているの？

回復期リハビリテーション病棟 入院から退院まで

入院後すぐ



Check!

入院時の多職種による合同評価

リハビリテーション担当の各職種（PT,OT,ST）、看護師、薬剤師、栄養士、医療相談員と一緒に、入院までの情報を共有し、診察をして現在のADL（日常生活動作）状況、身体状況などを確認し、安全な入院生活を送れるように環境を整えます。また、退院時の目標、入院期間を設定します。



入院後は当日から リハビリテーションを開始!

自分でベッドから起き上がる、椅子へ腰掛けるなど、日常生活の中で行う基本的な動作を練習します。

入院から1週間

初回カンファレンス

各担当者が入院から1週間程度の期間経過報告を行います。入院時に設定した退院時目標や入院期間が妥当なのかどうか検討し、チームで共有します。



Q 回復期リハビリテーション病棟はどんな時に入院するの？

A 急性期病院で治療が終わっても、治療とリハビリテーションが必要な時です。

回復期リハビリテーション病棟に入院する方の多くは、急性期病院で治療を終えたものの、すぐに自宅へ復帰するには不安があり、引き続きの治療とリハビリテーションが必要な方です。この病棟では、入院する全ての方に、疾患を発症する前の状態や生活の様子を入院時にお伺いしています。そして、「発症以前の状態まで回復」を目標として治療とリハビリテーションを行います。もちろん、疾患や障害の程度、回復の程度などは個人差がありますが、スタッフと患者さん、そしてご家族と協力し合い、患者さんの回復を全力でサポートします。

入院中期

毎日の積極的な リハビリテーション

PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）が、1日2～3時間リハビリテーションを実施します。また、日常生活もリハビリテーションと捉え、生活そのものがリハビリテーションになるようにサポートします。



Check!



家屋調査・改修

退院先の環境が退院時に予測される患者さんの身体状況と合わない場合には、ご本人、ご家族、ケアマネジャー、介護用品担当者などと共に病院の訓練担当スタッフがご自宅へ訪問し、自宅の改修や必要な介護用品の選定などを行います。

経過 カンファレンス

1か月ごとに経過報告を行い、入院時に設定した退院時目標や入院期間が妥当なものかどうか検討し、必要あれば修正し、共有します。

入院後期

退院前 カンファレンス

退院日が具体的に決まった頃に、具体的な介護サービスの利用状況、医療的なケアのフォローなどについて、情報を共有します。

Check!



外出・外泊訓練

屋外歩行が可能な場合には、公共交通利用や屋外歩行時の安全確認の可否、長距離歩行の耐久性などを目的に適宜実施します。

地域包括ケア病棟 のご紹介

地域包括ケア病棟とは？

ご自宅や施設で具合が悪くなった方や、急性期病院にて症状が安定したものの、退院後の生活が不安な方や、集中してリハビリテーションを受けたい方など、疾患を問わず、在宅復帰を目指す方であればどなたでも受け入れの対象です。



ADL (日常生活動作) を練習するための専用スペースを完備!



当院の地域包括ケア病棟の特長



在宅復帰を目指す方の治療とサポートを行います

01

在宅復帰を支援するリハビリテーションを提供します。食事や着替え、整容、排泄、入浴などの日常的な生活動作の練習はもちろん、歩行などの移動動作や、調理などの家事動作、また、交通機関の利用等の練習も行い、スムーズに在宅生活へ移行できるように支援します。

02

リニューアルした居室

より過ごしやすくなったお部屋で、入院生活を送っていただけます。トイレや洗面台、各機器の使いやすさや動線など、患者さん視点での部屋作りを心がけています。



退院へ向けて

ご家族へのアドバイス

自宅で身体的な介護が必要となった場合には、患者さんに実際に必要になった介護動作を、病院でご家族に実際に行っていたら、手順やポイントなどをアドバイスします。

介護サービス担当者会議

退院後のサービス担当者（ケアマネジャーやヘルパーなど）と、病院における介護状況などをお知らせします。

紹介先へ情報提供

退院後に診療を担当する地域の医療機関へ、入院中の全身状態の推移を共有します。

Check!



在宅医療部との連携

退院後は、介護サービスを受けている患者さんに対して、引き続き在宅医療サービスを提供しています。在宅医療部門のスタッフは情報を共有するため、入院中から積極的にカンファレンスへ参加し、退院後のスムーズな治療へつなげていきます。また、介護サービスを受けていない患者さんには、引き続き外来リハビリを提供し、在宅生活をサポートしていきます。

自宅に戻ってからも

Check!



豊富な在宅医療サービス

退院後も、安全で安心できる在宅生活を継続できるよう、外来リハビリや訪問リハビリ、在宅医療サービスを提供しています。当院の在宅医療部では、訪問診療や訪問看護、管理栄養士による訪問栄養指導など、さまざまなサービスを提供しています。また、定期的な訪問看護が必要な場合は、当グループの訪問ステーション「てとと大岡山」と連携し、継続した看護を受けることが可能です。



退院後も
外来リハビリや
訪問リハビリで
患者さんを
サポートします

訪問リハビリ

理学療法士と作業療法士が患者さんのご自宅を訪問し、リハビリテーションを提供します。身体機能面の維持回復はもちろん、生活しやすい住宅環境の設定や介助者への介助ポイントのアドバイスを実施。住み慣れた環境で自分らしく生活ができるよう、ご自宅に合わせたリハビリテーションを提案し、専門スタッフがサポートいたします。



外来リハビリ

患者さんが可能な限り自宅で自立した生活ができるよう、リハビリテーションを受けることができます。一人ひとりに合わせたオーダーメイドのリハビリテーションの提供や物理療法を用いて、生活向上や日常生活の支援を目指します。



ロボットリハビリ

病気やけがで、手や足が不自由になった人たちのためにロボットを活用したリハビリテーションを提供します。

Point of Care (POC)

トイレや着替え、歩行など、日常生活のなかで介助が必要な動作に関して、ピンポイントで専門的なリハビリテーションの提供を行います。個別・集団リハビリに加え、一人ひとりの生活で必要な動作への絞った訓練を行うことで、目標とする動作の早期獲得につなげます。



摂食・嚥下リハビリ

言語聴覚士を中心に、入院後早期から患者さんの嚥下機能を評価し、適切な食事とリハビリテーションで、機能訓練を行います。

多職種協働と退院支援

リハビリテーションの効果を最大限に引き出すため、医師、看護部、介護部、栄養部などの専門職とチームを形成し在宅復帰を支援します。退院の際はソーシャルワーカーやケアマネジャーと協力し、さまざまな制度や施設、機関などの社会資源の活用や、介護福祉サービスについての情報提供、ご提案をします。



個別リハビリ、集団リハビリ

患者さんの病状を評価し、一人ひとりに合わせたリハビリテーションを提供します。個別のリハビリテーションだけでなく、他者との触れ合いや楽しみを取り入れた集団リハビリにも力を入れています。

さまざまな在宅復帰を見据えた リハビリテーション

患者さん一人ひとりに合わせたリハビリテーションを提供し、1日でも早い在宅復帰を支援するため、さまざまなリハビリテーションを提供しています。

膀胱・直腸機能リハビリ



トイレ動作の獲得は、在宅復帰における最重要課題のひとつです。入院直後から早期排泄自立を意識し、一人ひとりに合わせたプログラムを実践します。



離床への取り組み

入院生活で過度に安静な状態が続くと、身体能力の大幅な低下や精神状態に悪影響を引き起こす「廃用症候群」を招くことがあります。その予防のため、趣味や娯楽を取り入れた、目的を持った離床に取り組んでいます。目的を持って離床を行うことは、運動や認知機能低下の予防とともに、回復への最大の近道です。

STAFF INTRODUCTION



徹底した感染症対策のもと毎日の食事を作っています!



適切に栄養を摂ることができなければ病気は治らず、リハビリテーションの効果も出てきません。栄養部では、あらゆる状態の患者さんに適切な栄養を提供できるよう、多種多様な献立を用意しています。

栄養部の取り組み Pick Up



献立への工夫
病院にいても四季を感じられるよう、旬の食材を使い、ちらし寿司やクリスマスケーキなどの行事食を提供しています。また、食事に関心が持てるよう、献立に行事食や全国の郷土料理を取り入れるなどの工夫をしています。

ミールラウンド
スタッフがお食事をしている患者さんの元を訪れ、食の進み具合や好みを伺ったり、必要な栄養が摂れているかなどの確認を行います。患者さんの嗜好や体調、食事摂取状況を知ること、適切な食事を提供します。



みなさんの入院生活の楽しみと、リハビリテーションの力になるよう、栄養満点でおいしい食事を提供できるよう努めています。縁の下の力持ち、栄養部です!



痙縮ってどんな病気?

脳卒中などの発症後に多く出る後遺症で、意思とは関係なく筋肉が過度に緊張し、手足が勝手に曲がったり突っ張ってしまう状態のことです。



☑ 手の指が握ったままで開きづらい

☑ 肘が曲がり伸びづらい

☑ 爪先が上がりやすく、歩くと引っかかる

痛みや動きにくさなどなんでもご相談ください

痙縮治療のご案内

痙縮になる前の生活を目指して治療を行います!

1 診察

ボツリヌス療法を受けられるかどうか、医師が判断します。



2 治療の目標設定

「何に困っているのか」「何ができるようにしたいのか」を明確にすることで目標を設定し、注射をする部位を決定します。

痙縮の治療として、電気で筋肉を刺激しながらボツリヌス毒素を注射するボツリヌス療法を行っています。約1週間ほどで治療の効果が現れるようになり、3ヵ月から6ヵ月その効果は持続します。手や足の突っ張りを改善している間に、リハビリテーションで関節の動きに対してもアプローチします。

3 初回治療

つっぱりのある筋肉に薬を注射します。

4 2回目の治療 (初回から3ヵ月以降)

経過観察を経て効果が弱まってきたら、2回目以降の治療を行います。以降は経過観察と治療を繰り返します。
※リハビリテーションは診察と並行して行っています。



痙縮のために手が使いにくくなるほか、歩きにくくなります。また、寒くなるとより一層痙縮が辛くなることがあります。その辛さを少しでも楽にし、痛みのない毎日をご過ごせるようお手伝いいたします。

リハビリテーション科 / 牛場 直子 医師

2020年春、
病棟設備を
リニューアル。
これからもより良い
地域医療を提供
いたします。

当院では2つの病棟で
地域のみなさんの健康を支援します。

- ・回復期リハビリテーション病棟
- ・地域包括ケア病棟

.....
外来リハビリテーションのご案内

当院では、外来リハビリも実施しています。体に痛みや不安がある方は、ぜひご利用ください。

- ・食事の時にむせてしまう
- ・膝の関節が痛くて歩きづらい
- ・退院後リハビリテーションがなくなるのは不安

※上記以外の場合もお気軽にご相談ください。



当院へのアクセス

○東急田園都市線 大井町線ご利用の場合

二子玉川駅から東急バス「玉11」多摩川駅行き
野毛桜堤停留所下車 徒歩約1分

○東急東横線 目黒線ご利用の場合

多摩川駅から東急バス「玉11」二子玉川駅行き
野毛桜堤停留所下車 徒歩約1分

○無料送迎バスあります

二子玉川駅より、ご家族向けの送迎バスを運行しております。くわしくはホームページをご覧ください。



時刻表	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時
駅発	40	40	40	30	30	30	10
病院発	-	30	30	20	20	20	00

- 診療科目 内科・整形外科
リハビリテーション科・脳神経外科
- 診療時間 月～土曜 午前 9:00～12:00
※曜日によって変動があります
- 休診日 月～土曜午後・日曜祝日・年末年始

医療法人 平成博愛会
世田谷記念病院
SETAGAYA MEMORIAL HOSPITAL

〒158-0092 東京都世田谷区野毛2丁目30番10号
Tel.03-3703-5100 Fax.03-3703-7730
www.setagayahp.jp info@setagayahp.jp

ご来院のみなさまへ

当院では新型コロナウイルス(COVID-19)対策としてご来院される全ての方に右記の対応をお願いしています。入院患者さんおよび、ご来院のみなさまを感染から守るためにご協力をお願いいたします。
世田谷記念病院 院長

体温測定

院内にお入りになる前に、全ての方に体温測定の実施をお願いしています。係の者が不在の場合は、お手数ですが受付までお声掛けください。発熱を認めた場合は係の者の指示に従ってください。

マスクの着用

来院時にはご自分でご用意ください。お持ちでない場合は受付にお申し出ください。

手指消毒

院内にお入りになる前に必ずアルコール消毒剤で手指消毒をしてください。

院内での飲食禁止

飲食時にマスクを外すことにより感染リスクが高まるため、院内での飲食禁止にご協力ください。(入院患者さんは対象外です)